

第12回定例会 一般質問登壇順（決定）

登壇順番	議席番号	氏名
1	11	刈田敏
2	8	高橋宏
3	6	唐仁原俊博
4	3	普本歌織

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	2 番
				通 告 書 受 理 月 日	令和 6 年 11 月 22 日 午前・午後 10 時 45 分

令和 6 年 12 月 第 12 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 22 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 11 番 刈田 敏



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 高齢者福祉対策 について	<p>岩手県内で最も高齢化率が高い本町において、買い物、通院、除雪、介護などさまざまな困りごとが浮き彫りとなっている。さらに進む高齢化に向けて「自助、互助、共助、公助」により問題解決のための取り組みは行われているが、今一度現状を捉え「住みやすい、住みたい町」西和賀のまちづくりを推進して行かなければいけないと考える、本町における高齢者福祉対策について伺う。</p> <p>(1) 高齢者世帯について</p> <p>① 最新の高齢単身世帯、高齢夫婦世帯数はどうなっているか。</p> <p>② 令和元年から高齢単身世帯、高齢夫婦の世帯数の動きはどうなっているか。</p> <p>③ 町の事業としての困りごと相談の窓口にはどのようなものがあるか。</p> <p>④ 困りごと相談ではどのような相談が寄せられているか、プライバシーに関わらない範囲で伺う。</p> <p>(2) 高齢者福祉について</p> <p>① 高齢者が社会参加できる環境づくりの取り組みを実態としてどのように進めているか。</p> <p>② 高齢者と地域とのかかわりをどのように進めていくのか、検討しているか。</p>	町 長

項目	質問要旨	答弁を 求める者
1 高齢者福祉対策 について	<p>(3) 介護について</p> <p>① 要介護認定者数、老人福祉施設への入所待機者数について令和元年度以降どのように変化しているか。</p> <p>② 今後の高齢化社会対策にむけて町と町内の老人福祉施設がどのように進めていくのか、施設との情報共有、協議を進めているか。</p>	町長
2 観光振興について	<p>岩手県では、岩手県自転車活用推進計画に基づき、「岩手県広域サイクリングルート検討会議」を設置し地域特性を生かした広域的なサイクリングルートの整備を進めている。本町も美しいまち並みや文化を楽しみながら水辺と名湯をめぐるルート「いわてイーハトーブルート」として指定されているが今後の考えを伺う。</p> <p>① にしわがサイクルステーション（高原ふれあい産直ハウス、沢内バーデン、湯夢プラザ、結ハウス）の利用状況と課題について伺う。</p> <p>② 自転車による観光振興「サイクルツーリズム」を進めていくことで観光の活性化が望まれると思う。今後の考えについて伺う。</p>	町長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	1 番
				通 告 書 受理月日	令和 6 年 11 月 20 日 午前・ 午後 4 時 4 分

令和 6 年 12 月 第 12 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 20 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 8 番 高橋 宏



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 貝沢地区の酪農事業について	<p>YUDA ミルク(株) (旧湯田牛乳公社) は貝沢地区で直営での酪農事業を進めています。地域への影響と町の支援について伺う。</p> <p>① 昨年 12 月、貝沢地区で YUDA ミルク(株)の酪農事業についての説明会が町主催で行われた。事業自体への反対意見はなかったが、事業進行手続き等への不安の声が出された。不安解消のためその後の説明会を行ったのか伺う。</p> <p>② その説明会で出た意見、特に環境対策についてはどのように進められているか伺う。</p> <p>③ その際の YUDA ミルク(株)からの説明では「地元から粗飼料生産を行う予定」とのことだったが、地域計画策定への影響について伺う。</p>	町 長
2 第三セクターの経営について	<p>町の総合計画において、第三セクターの経営改善について経営健全化の検討を行うとあるが現状について伺う。</p> <p>① 山の幸王国の事業において堆肥処理事業は大きなウェイトを占めている。YUDA ミルク(株)の酪農事業へ与える影響について伺う。</p> <p>② 西和賀産業公社へは令和 5 年度より様々な支援が行われているが、成果と課題について伺う。</p>	町 長

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3 中山間地域等直接支払制度について	<p>国の中山間地域等直接支払制度において集落機能強化加算、集落協定広域化加算、生産性向上加算が廃止されることによる地域の影響について伺う。</p> <p>① 加算制度に取り組んでいる地域の来年度の影響について伺う。</p> <p>② 新設される加算措置への支援について伺う。</p>	町 長
4 西和賀町役場の組織体制について	<p>町の状況に伴い、役場組織体制の見直しが検討されているか伺う。</p> <p>① 西和賀高校の生徒募集に関し、令和7年度の募集定員を現在の1学級40人から、2学級80人に増やすことが決定された。これを受け町としての受け入れ体制は現状の教育委員会中心で進めるのか町の方針を伺う。</p> <p>② 西和賀町議会主催で、本年11月、にしわが建設会の会員みなさんと意見交換を行うため「住民の声を聴く会」を行った。その際に出された意見には「人手不足から将来の除雪作業維持が不安」との声があった。</p> <p>令和3年度に実施された西和賀町長選挙の選挙公報には、内記町長の公約として「雪対策担当課を新設する」旨の記載があるが、検討状況について伺う。</p>	町 長 教育長

議長	事務局長	局員	受付	受理番号	4番
				通告書 受理月日	令和6年11月22日 午前・ 午後 3時 / 分

令和6年12月 第12回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和6年11月22日

西和賀町議会議長 高橋雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6番 唐仁原 俊博



次の通り通告します。

質問項目	質問要旨	答弁を 求める者
1 移住コーディネーターについて	<p>現在、町では2名の移住コーディネーターに、移住に関する相談や情報発信などの活動を委嘱している。</p> <p>(1) 現在委嘱を受けている2名は「兼任」や「副業型」と呼ばれる分類にあたるが、同じ形態の移住コーディネーターを増やす考えはないか。</p> <p>(2) 移住コーディネーターには「専任型」もある。町に専任型の移住コーディネーターを置く考えはないか。</p> <p>(3) 現在入手できる移住希望者向けのパンフレットはどのようなものか。</p>	町長
2 地域おこし協力隊について	<p>(1) 9月定例会の時点で7名の隊員が在籍していたが、その後、変動はあるか。</p> <p>(2) 町は昨年度より協力隊募集業務の委託を行っている。効果的な募集のあり方を探ることだったが、現時点ではどのような議論になっているか。</p> <p>(3) 協力隊の日々のサポートについても委託を行っている。町が直接サポートしていた体制と比べて、感触はどうか。</p> <p>(4) 現在、町として初めて「地域おこし協力隊インターン」を受け入れている。活動内容と現時点での評価を伺う。</p> <p>(5) 来年度以降の地域おこし協力隊インターン受け入れについて、考えを伺う。</p>	町長

質問項目	質問要旨	答弁を 求める者
3 町営施設の利用活性化・情報発信について	<p>(1) 銀河ホールや町営スキー場といった施設は町外からの合宿利用を見込めると考えるが、町の認識を伺う。</p> <p>(2) 合宿利用が見込めるとの認識であれば、具体的な利用方法を提示することが集客につながるのではないかな。</p>	町長 教育長
4 獣害対策・ジビエ施設について	<p>(1) 現時点での獣害の状況と町の対応について伺う。</p> <p>(2) 現在、民間事業者が町内でジビエ事業を計画していると聞いている。町はその動きをどのように捉えているか。</p> <p>(3) 町は猟友会と連携して獣害対策を行っているが、会員数減少や高齢化が進んでいると聞いている。今後、町が担う役割を見直すなどの対応も必要になるのではないかな。</p>	町長
5 保育所(園)・学校施設について	<p>(1) 8月には保育所(園)・学校施設のあり方について住民説明会が行われたが、その後、住民との意見交換の機会があったか。その場ではどのような意見が出たか。</p> <p>(2) 教育委員会が秋田県五城目町を視察したと聞いている。どのような知見を得たか。</p> <p>(3) 保育所(園)・学校の施設(建物などのハード)について、議論の進捗状況は。</p>	教育長
6 町の将来像について	<p>(1) 道の駅代替施設として議論が行われてきた、いわゆる「拠点施設」の整備について、町の方針を伺う。</p> <p>(2) 保育所(園)・学校、保健センター移転や「拠点施設」新築など、施設整備計画が次々持ち上がっている。また、最近では、町外からも人を集められるような「木育施設」の整備も話題に上がることがある。町民との対話や町職員の間での議論など、十分に行えているという認識か。</p> <p>(3) 今後、新築する施設については、町の木材を積極的に使うことが差別化につながると考える。町の認識はどうか。また、実現にあたっての障害はあるか。</p>	町長 教育長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	3 番
				通 告 書 受理月日	令和 6 年 11 月 22 日 午前 ・午後 11 時 11 分

令和 6 年 12 月 第 12 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 11 月 22 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 3 番

普本 歌織



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 今後の保育所・小中学校のあり方について	<p>保育所・小中学校それぞれのあり方検討委員会からの答申が出そろい、地域説明会・保護者説明会も行われた。</p> <p>(1) その後検討が進められていると思うが、保育所・小中学校のあり方について町の方針に変更はないか。</p> <p>(2) 施設については、保育所、小学校、中学校、学童保育、それぞれの施設にするのか、一体化した施設にするかの検討はしているか。</p> <p>(3) 小中学校の保護者対象の説明会が湯田・沢内の 2 会場で行われた。どのような意見が出たか。また、十分意見を聴取できたと考えているか。</p> <p>(4) 今後どのように保育所、小中学校保護者への情報提供や、意見の聴取を行う予定か。</p> <p>(5) 教育施設整備場所についてはどのように検討を進める予定か。</p> <p>(6) 保護者説明会の中で、少人数指導の良さを生かし一人一人を大切にし、子どもたちが自ら育とうとする力を支援する教育をこれまで以上に進めていく考えが示された。議会の行政視察で訪問した福島県大熊町の小中一貫校である義務教育学校「学び舎ゆめの森」では一人一人の興味関心を大切にしたり、学習者主体の教育が行われており、子どもたちの生き生きとした姿にその大切さを確信した。今まで以上に一人一人のペースや、興味関心に合わせた学習ができる教育環境が、町</p>	町 長 教育長

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 今後の保育所・小中学校のあり方について	<p>の教育の目標達成には必要と考えるが、いかがか。</p>	町 長
2 保健センター建設に伴う産後ケア事業について	<p>9月議会の答弁の中で、新しく整備する計画の保健センターの機能の一つとして、「産後ケア機能」を考えているということであった。町内の出産経験者から、産後の休息や回復のための場や事業を望む声が届いている。</p> <p>(1) 現在町で行われている産後ケアにはどのようなものがあるか。</p> <p>(2) 保健センター内に産後の母親の休憩スペースを検討しているとのことであった。ベッドや食事の提供を西和賀さわうち病院や町内の旅館等と連携して行う方法も考えられると思うが、いかがか。</p> <p>(3) 利用者の状態によっては、助産師や医療との連携が必要になると考えるが、検討されているか。</p> <p>(4) 産後ケアメニューとして、アロママッサージ、カウンセリング、ヨガなど町内人材を活用することも考えられると思うが、いかがか。</p> <p>(5) 産後ケアの対象者をどのように考えているか。里帰り出産の方を対象者に含めることはできるか。</p> <p>(6) 産後ケア事業の内容等について、町民の意見を取り入れる予定はあるか。</p>	町 長
3 小規模農家への支援について	<p>町の農業施策として、農地の集約、法人経営体や集落営農組合等への支援が進められている。</p> <p>(1) 法人経営体または集落営農組合と個人経営体の割合を従事者と農地面積の点から伺う。</p> <p>(2) 第2次総合計画「農業生産基盤の整備」の「取り組み内容」の中には、「町の農業基盤を支える個々の農家の取り組みに十分配慮したうえで、後継者対策の一つとして法人経営体や集落営農組合等の支援を行う」とある。個々の、特に小規模農家を支える仕組みにはどのような支援があるか。</p> <p>(3) 新規就農者の支援にはどのようなものがあるか。</p> <p>(4) 新規就農者が支援の申し込みをしようとした時に、書類作成のアドバイスが得られる等、申し込みをし</p>	町 長

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3 小規模農家への支援について	<p>やすくする体制はあるか。</p> <p>(5) 西和賀町農業農村振興プランには、「強い農業」を目指す内容があるが、法人や集落営農の取り組みと共に、小規模農家や家族経営も健全な経営をしている多様性ある農業が、真に強い農業なのではないかと考える。農家への所得補償など、安心して営農できるための支援の考えはないか。</p>	町 長
4 介護福祉事業について	<p>(1) 町内で訪問介護を行う事業所が2事業所あったが、この11月から1事業所が休止し、1事業所に減っている。この経緯を町では把握しているか。</p> <p>(2) 1事業所になったことでの町民への影響をどのように見ているか。</p> <p>(3) 訪問介護の中の通院等乗降介助を行っていたのは訪問介護を休止した1事業所のみである。このことでの町民への影響をどのように見ているか。</p> <p>(4) 現在通院等乗降介助を行っていない事業所が行うようになるためには、どのような手続きが必要か。</p> <p>(5) 介護福祉にかかわる町内の事業所は人材不足が大きな課題である。町が現在行っている人材育成・人材確保の取り組みについて伺う。</p> <p>(6) 今後の町の介護福祉施策は、施設の補修・改修、人材確保を含めた展望を町が示し、事業所と共有することが必要と考えるが、いかがか。</p>	町 長